

学術情報のデジタルトランスフォーメーションを推進する
学術情報の基盤形成に関する検討委員会
(第25期・第1回)

議事録

1. 日時 令和3年2月26日(金) 10:00-12:00

2. 会場 オンライン開催(WebEx)

出席者(五十音順、敬称略): 安達 淳、加藤 忠史、行場 次朗、下田 正弘、
高倉 浩樹、武田 洋幸、田近 英一、丹下 健、菱田 公一、山口 周
オブザーバ参加: 吉見俊哉
欠席: 小安 重夫

3. 議題

- (1) 委員の紹介
- (2) 委員長の選出、副委員長・幹事の指名と承認
- (3) 委員会の役割について
- (4) 今後の検討について
- (5) その他

4. 配布資料

資料1: 学術情報のデジタルトランスフォーメーションを推進する学術情報の基盤形成に関する検討委員会 設置提案書及び設置要綱

資料2: 委員名簿

資料3: 24期提言「学術情報流通の大変革時代に向けた学術情報環境の再構築と国際競争力強化」(令和2年9月28日)

資料4: 「我が国の学術情報流通における課題への対応について(審議まとめ)」(令和3年2月12日 科学技術・学術審議会 情報委員会 ジャーナル問題検討部会)

参考資料1: メール審議の実施について

参考資料2: 委員会等の議事要旨の公開等に関するガイドライン

追加資料: ISC(International Science Council), “Opening the record of science: making scholarly publishing work for science in the digital era,” ISC Report, February 2021.

5. 議事

- (1) (委員の紹介、委員会の役割) 菱田委員から本委員会の発足の経緯と趣旨の説明が行われた後、山口委員から資料3, 4および追加資料により前期の活動の説明があった。次に各員の自己紹介が行われた。また、今回議事録の作成を安達委員に依頼すること、委員会の略称を「学術情報DX委員会」とすることが提案され、了承された。

- (2) (意見交換) 菱田委員から、課題別委員会として本委員会が設置されたことについて追加の説明がされた後、委員から意見交換が行われた。
- (3) (委員長の選出) 委員長の選出が行われ、山口委員が選出された。また副委員長に安達委員が指名された。また、委員長より幹事として丹下委員、吉見委員(予定)が推薦され了承された。なお吉見委員は、当初より本委員会に参加する予定であったが、手続きの遅れにより委員就任時点での幹事就任となるため「予定」としている。委員長から委員の追加を考えたい旨の提案があり、次回委員会までに候補者の推薦を受け付けることとした。
- (4) (その他) メール審議を活用する旨の事務局提案を了承し、委員のメールアドレスを共有することになった。次回の委員会は3月末を予定することになった。

以上